

令和元年度 事業報告

東京都建設防災ボランティア協会は、都内に大規模な地震が発生した場合に、東京都建設局等に協力して公共土木施設等の被災情報の収集、応急復旧などの支援活動を行うことを目的として、東京都建設局、東京都道路整備保全公社及び東京都公園協会の協力・支援を得て、平成9年6月に発足し、22年目を迎えました。

平成11年度からは、大規模土砂災害の発生時に、東京都などに対し積極的に支援活動を行うために、砂防ボランティア制度を当協会内に併設しました。

また、平成15年度からは「東京都地域防災計画 震災編」及び「同 風水害編」において、当協会は建設局に関連する災害ボランティア団体と位置付けられ、発災時の活動が期待されています。

令和元年度は、定期総会において決定した事業計画に基づき、次のような諸活動を行いました。

I. 防災訓練

平成23年には東日本大震災、平成25年には伊豆大島において大規模な土砂災害が発生しました。これらの復旧・復興が鋭意行われている最中の平成27年9月には、関東東北豪雨による鬼怒川の決壊、平成28年の4月には熊本地震、平成30年6月から7月にかけて西日本を中心とする台風7号及び集中豪雨、9月には北海道胆振東部地震の発生、令和元年9月に台風15号（令和元年房総半島台風）が上陸し記録的な強風により送電鉄塔の倒壊等により千葉県では大規模停電が発生、10月には台風19号（令和元年東日本台風）が上陸し記録的な大雨により、関東（多摩川流域・日原の崖崩壊他）・甲信（千曲川の決壊等）・東北（阿武隈川決壊等）各地方で広範囲に渡り河川の決壊・土砂災害が発生し、多くの尊い命が奪われています。

令和元年度の総合防災訓練・初動対応訓練においては、こうした災害から得られた教訓を踏まえ、それぞれの課題に対応した実践的な訓練が行われました。

1. 東京都総合防災訓練

令和元年度の総合防災訓練は、9月1日（日）、東京都・多摩市合同防災訓練として多摩ニュータウン通り、多摩中央公園及びパルテノン大通りほか周辺地域の訓練会場にて実施されました。この訓練は「自助・共助」と「連携」をテーマに、多摩直下地震（マグにユード7.3）が発生したとの想定のもとに行われました。

この訓練は、大規模な地震の発生に備え、都民自らの自主防災能力を充実させ、地域一体としての防災力を向上させるとともに、これを支援する東京都及び各防災関係機関の連携強化による災害対応力の向上を目的として行われました。

当協会からは、建設局からの協力要請に基づき、南東建班6名・北南建班から応援1名、西部公園班から3名、本部3名の計13名が参加しました。多摩中央公園での道路障害物除去訓練やパルテノン大通りでの土砂災害パネル展のほか「水のう作り体験」・「ロープワーク体験」、「土砂災害警戒区域の個人面談」等について防災公園関連の展示・体験訓練に参加・協力しました。道路障害物除去訓練は、南東建と合同で行われ、被害状況を適切に南東建点検班に報告し道路の早期開放に協力しました。また、西部公園

緑地事務所の「震災時における公園緑地の役割」パネル展示の解説業務に参加し、都立公園の防災上の役割を大いにアピールすることが出来ました。当日は無風、快晴で気温30度を越える暑いなかでの訓練でした。

訓練終了にあたり、小池知事、阿部市長及び都議会・市議会の議長からの講評を受けた後、建設局関係の参加者は局の本部前に再集合して、三浦局長から慰労を含めた講評を受け訓練は無事終了しました。

2. 建設局初動対応訓練

令和元年度の建設局初動対応訓練は、令和2年1月31日(金)の午前7時から12時まで、建設局本庁及び各建設事務所・公園緑地事務所等の連携のもとに行われました。

昨年度と同様に、職員の災害発生時における対応能力の向上を図るとともに、訓練のポイントを①訓練内容の簡素化 ②事務局の事前準備を最小限にし実践的な訓練にする ③情報集約や連絡方法の確実性を高めることとして、重点的に実施されました。

この訓練には建設局からの協力依頼に基づき、当協会から77名の会員が参加し、そのうち11名の会員は参集訓練から参加しました。

訓練は、当日午前7時に東京湾北部を震源とする大規模地震(マグニチュード7.3、震度6以上)が発生し、都内各地で広域的な被害が発生したとの想定に基づき、7時から「安否確認訓練」、7時30分から徒歩による「参集訓練」、その後「本部開設訓練」等が行われました。会員は、早朝の徒歩参集訓練や被災箇所の出動点検訓練等に参加し、実践に対応出来るよう熱心に取り組みました。

II. 講習会・見学会等

発災時の活動に活かせるよう災害や防災に関する知識・情報を得るため、各種講習会や大規模事業等の現場見学会を開催しました。令和元年度の実施結果は次のとおりです。

1. 普通救命講習会

令和元年度は、諸事情により開催を見送りました。

2. 施設見学会

令和元年度の施設見学会は、11月13日(水)に、環境局所管の中央防波堤外側埋立処分場及び新海面処分場を実施しました。当初の参加申込者は39名でしたが、当日の参加者は32名となりました。

視察ルートは、午後1時に新木場駅南側に集合し、貸し切りバスにて環境局中防合同庁舎に向かい、合同庁舎10階の展望フロアにて環境公社相談役の説明を受けながら、2020年オリ・パラ競技場となる「海の森クロスカントリーコース」、「海の森水上競技場」、さらに中央防波堤内側の中間処理施設群や中防外側のコンテナヤード、新海面処分場を展望見学しました。引き続き、同フロアの「説明会場」において、23区内のごみの収集・運搬から中間処理、埋立て、覆土までのプロセス、浸出水処理フローや埋立処分場の移り変わり、廃棄物埋立処分量の推移、エネルギーの有効活用等について、具体的で丁寧な説明がありました。

会場での説明後、バスに乗り込み中央防波堤内側、外側埋立処分場及び新海面処分場を見学しました。

処分場へ向かう中で車中から粗大ごみ破碎施設や不燃ごみ処理施設等の中間処理施設群の工場施設の説明がありました。バスを降り処分場で最も高い位置にあり360度見渡せる「見晴台」からは、拡張工事の中の新海面処分場の全貌、羽田国際空港や夕日に輝く東京の町並みが見渡せることが出来、東京駅丸の内広場で解散となりました。

3. 砂防講習会

砂防講習会は、協会で砂防ボランティアとして登録している会員を中心に、建設局河川部の協力を得て東京都の砂防対策や危険個所の実情・取組みなど、最新の状況を学ぶ機会として毎年実施しています。令和元年度は、台風19号による被害地域への復旧対応、とりわけ西多摩建設事務所管内での復旧事業に全力を傾注するため、建設局と協議の上、中止としました。

Ⅲ. 建設局等の行事への参加・協力

災害時に備えて行う防災訓練のほか、常時の活動を通じて建設局と協会との連携を強め、また会員相互の連帯感・一体感を強化していく目的で、建設局が主催・共催している各種事業に積極的に参加しました。

1. 道路施設等点検

道路施設等点検は、道路本来の機能維持とバリアフリーという観点から多くの目で点検し、対策を講ずることを目的に、前期と後期の2回行われています。この業務は会員にとっても、日頃から管内道路事情を把握することにより発災時に役立つことが期待できることから、平成15年度後期より全建設事務所での点検業務に参加しています。また、平成26年度から道路管理部長名の協力依頼文を受け行っています。

点検は各事務所が自主的に行うため参加方法や時期は異なりますが、令和元年度は11建設事務所において前期54名、後期は50名、延べ104名の会員が参加しました。

2. 「河川愛護月間」行事等

例年7月に集中して開催された河川愛護月間行事ですが、今年は猛暑を考慮して、9月、10月の開催も始まりました。二つの行事が雨天中止になり、都民参加が少なく当協会の応援がなしとなる行事もあり波乱もありましたが、延べ55名の会員が多彩な催しに参加しました。

「川のパネル展」は7月8日～12日に第二本庁舎1階、7月19日～22日に新宿西口イベントコーナーの2ヶ所で、延8日間開催されました。来場者数は約6,000名に上りました。また、7月20日開催された「環七地下の巨大トンネルを体験」には参加しましたが、「野川ちびっ子先生あつまれ！」「わくわく川掃除&川遊び 黒目川・落合川」の行事は、雨のため中止となりました。

その他、7月27日に井の頭恩賜公園にて開催された第3回「かわフェスタ（主催：河川部）」は1,000名近い来場者を数えました。7月24・25日に多摩川下流部右岸（川崎市側）にて開催された「夏休み多摩川教室（主催：多摩川流域協議会及び国土交通省京浜河川事務所）」に昨年に続き参加しました。さらに、一般の方々を公募して、都内の河川129を歩いて親しんで頂く「川を歩こう」は、隅田川、石神井川、南浅川、多摩川の4河川で開催されました。これらのイベントに合わせて約3,000名

もの都民の皆さんが参加しました。

7月30日（火）には、「東京の川を考えるシンポジウム2019」が都庁の都民ホールで開催され、160名の都民が参加されました。

また、8月28日（木）～31日（土）に新宿駅西口広場で開催された「東京 橋と土木展」に協会から14名が参加しました。（4日間で52,000人が来場）さらに、11月18日は「土木の日」。この日に近い11月14日（木）～17日（日）まで同じく西口広場で開催された「土木コレクション」（古川公毅顧問の講演あり）には協会から16名が参加しています。（4日間で35,000人が来場）

3. 隅田川著名橋等ツアー

勝鬨橋の長寿命化工事に伴い、平成29年12月28日をもって一時中止（2年間の予定）となった、「勝どき橋ミニツアー」に代わり、装いも新たに開始された「隅田川著名橋等ツアー」は、平成30年4月26日（木）に第一回ツアーが実施され、関係者の協力を得て順調に運営されてきましたが、長寿命化工事の完了により、令和元年度（令和2年1月23日のツアー）で終了し、令和2年5月より「勝どき橋ミニツアー」を再開する予定です。

例年通り、隅田川著名橋等ツアー研修会が、12月3日（火）東京都道路整備保全公社において開催され、協会・公社・建設局から48名が参加しました。

山口会長の挨拶に続き、来賓である道路整備保全公社の東常務理事から挨拶がありました。続いて、道路整備保全公社の清水担当係長から「隅田川著名橋等ツアーの開催状況等」として、平成30年12月から令和元年10月までの10回で、延べ86名の会員が案内に参加し、お客様152名、平均倍率4倍、ツアーの満足度93%という、報告がありました。

講演に移り、道路管理部加藤順一橋梁構造専門課長から、「勝鬨橋の長寿命化事業について」と題して、補修工事及び著名橋群のライトアップの整備状況が紹介されました。続いて道路建設部の紅林章央橋梁構造専門課長から「歴史と文化が見える橋」と題した講演がありました。すべて自らが出かけて撮影した全国津々浦々の数千枚の写真の中から、厳選された240枚を超える橋の写真とこれにまつわる説明は、きわめて興味深く、また役に立つ講演でした。

IV. その他協会業務等

1. 会員の被服等購入助成

協会ではボランティア活動を安全・円滑に行うため、統一的な被服（帽子、ブルゾン、ズボン、ヘルメット、防寒服）を整えるべく、購入を希望する会員に「防災携行品特別会計」から助成を行っています。令和元年度は新規会員等7名にブルゾン等の購入・助成を行いました。

2. 協会ニュースの発行とホームページの公開

協会の活動状況を逐次会員にお知らせするとともに、会員相互のコミュニケーションを図る目的で「建設防災ボランティアニュース」を発行しています。令和元年度は第72号（6月30日）から第75号（3月30日）まで、4回発行しました。紙面の多くは、会員に執筆・投稿をいただいた記事で構成しています。

発行したニュースは、会員をはじめ、会の運営に理解と協力をいただいている建設局の関係部及び各事務所、並びに東京都道路整備保全公社、東京都公園協会にお届けしています。

また、協会活動の会員への速報性と、活動のデータ保存を兼ねて開設している当協会のホームページ「東京都建設防災ボランティア協会掲示板」(<http://tokyo-adv.info/>)を、今年度も逐次更新しながら公開してきました。また、建設局総務課広報担当の支援を得て、今年度も「けんせつ局報」の4月号から毎号を当ホームページに掲載し、会員が常時閲覧できるように致しました。

3. 建設局幹部との交流会

平成23年から行われている建設局主催の東京都建設防災ボランティア協会に対する「感謝の会」が令和2年1月17日（金）に開催されました。建設局からは三浦局長、今村次長をはじめ、本庁各部長、各事務所長など多くの幹部職員が、当協会からは新井副会長以下70名の会員が参加しました。

開催にあたり、三浦局長から、ボランティア協会の日ごろからの活動について感謝する旨のお話とともに、建設局のこのような協会員と現役職員との繋がりはありがたいことであり、他局の局長さんからも羨ましがられているとの紹介に、参加会員も意気に感じたところです。また、新井副会長からは、幹部職員へのお礼とこの会は私どもと局との連携・協同のための有意義な機会となりますとの挨拶がありました。懇談に入った会場では、和やかな雰囲気の中で局幹部と会員との意義深い意見交換が行われ、それぞれが協力・連携して活動していくことを確認し合いました。

なお、上記活動内容の詳細は別表のとおりです。

具体的な活動経過

時 期	項 目	内 容
31. 4. 1	会員の登録	<ul style="list-style-type: none"> ・会員名簿の作成 ・ボランティア保険加入
31. 4. 09	31年度 第1回 理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・継続会員の確認 ・31年度 事業計画作成 ・橋と土木展、土木コレクションの支援 他
31. 4. 25 ～2. 1. 23	隅田川著名橋等ツアー案内	<ul style="list-style-type: none"> ・3班編成により、1回/月15名募集 ・4月～1月 年10回対応 ・参加会員 延べ88名
元. 5. 9	第23回 定期総会 場所：道路整備保全公社	<ul style="list-style-type: none"> ・30年度 事業報告、決算報告 ・元年度 事業計画(案)、予算(案)審議 ・リーダー指名、功労者表彰 ・参加会員 73名
元. 5. 15	元年度 第2回 理事会 第1回リーダー会議	<ul style="list-style-type: none"> ・総合防災訓練などの日程 ・河川愛護月間行事の支援 ・橋と土木展、土木コレクションの支援 他 ・参加会員 32名
元. 5. 29	砂防ボランティア全国連絡 協議会（前期） 会場：砂防会館	<ul style="list-style-type: none"> ・元年度 砂防ボランティア全国の集い説明 ・元年度 砂防ボランティア活動予定（前期） ・参加会員 1名
元. 6. 6	砂防ボランティア全国の集い 会場：神奈川県横須賀市	<ul style="list-style-type: none"> ・元年度 砂防ボランティア全国の集い ・参加会員 1名
元. 6. 18 ～7. 26	元年度 前期道路施設等点検	対象事務所 11 建設事務所 <ul style="list-style-type: none"> ・道路施設及びバリアフリー点検 ・参加会員延べ 54名
元. 6.30	機関紙 第72号の発行	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度 定期総会開催 山口新会長挨拶 来賓の挨拶 ・第1回 リーダー会議開かれる ・南東建意見交換会 ・被災地福島県での3年間

時 期	項 目	内 容
元. 7. 1 ～ 10.10	元年度 河川愛護月間行事 支援参加	「川を歩こう」「環七地下のトンネルを体験」 ・隅田川、石神井川、神田川など4河川 ・参加会員延べ 12名 「川のパネル展・フォトコンテスト」 (第二本庁舎1階臨時窓口、新宿西口広場) ・開催日数9日間、参加会員延べ 25名 「東京の川を考えるシンポジウム」 7月30日 参加会員10名 「夏休み多摩川教室」 7月24・25日 参加会員 4名 「かわフェスタ・井の頭恩賜公園」 7月27日 参加会員 4名
元. 7. 2	元年度 第3回 理事会	・新規会員について ・道路施設点検等(前期) ・河川愛護月間行事 他
元. 8. 28 ～31	東京 橋と土木展 場所：新宿西口広場	参加会員14名
元. 9. 1	元年度 東京都・多摩市 合同総合防災訓練 訓練場所：多摩中央公園及び 多摩センター駅付近	訓練内容及び参加会員 南東建班・西部公園班他 道路啓開訓練 参加会員 3名 パネル展示等 参加会員 3名 排水ポンプ車展示及び 水のうづくり体験 参加会員 4名 本部 参加会員 3名 計 13名
元. 9. 18	元年度 第4回 理事会 場所：道路整備保全公社	・新規会員について ・河川愛護月間行事支援結果 ・総合防災訓練等の実施結果 ・活動報告 他
元.11.10	機関紙 第73号の発行	・総合防災訓練 ・河川愛護月間行事 ・前期・道路施設等点検終了 ・隅田川著名橋等ツアー、東京 橋と土木展

時 期	項 目	内 容
元.11.13	施設見学会	・中防外側処分場・新海面処分場 視察 参加会員 32名
元.11.14 ～17	土木コレクション 場所：新宿西口広場	参加会員 16名
元.11.18	砂防ボランティア全国 連絡協議会（後期） 会場：砂防会館	・元年度砂防ボランティア活動状況と 後期活動予定 ・最近の砂防に関する話題 参加会員 1名
元.11.29	元年度 第5回 理事会 場所：道路整備保全公社	・土木コレクションについて ・施設見学会の開催結果 ・初動対応訓練について ・隅田川著名橋等ツアー研修会 他
元.12.3	隅田川著名橋等ツアー研修会 場所：道路整備保全公社	・支援協会員、道路管理部、道路整備保全公社 ・参加者 48名 会 員 38名 関係者 10名
(中止)	元年度 砂防講習会 「現場見学会」 場所：西建管内	・台風19号により、西建管内が甚大な被害を受けたため、中止を決定
元.12.3 ～2.2.17	2年度 後期道路施設点検等	対象事務所 11建設事務所 ・道路施設及びバリアフリー点検 ・参加会員延べ 50名
2.1.17	建設局主催「感謝の会」 開催 場所：第二本庁舎 4階	出席者 ・建設局長,次長,道路監ほか局幹部27名 ・参加会員 70名
2.1.30	機関紙 第74号の発行	・山口会長 一年頭の挨拶— ・後期道路施設等点検 ・隅田川著名橋等ツアー研修会 ・施設見学会開催 ・北北建意見交換会 他
2.1.31	元年度 初動対応訓練	・対象事務所 11建設事務所 2公園緑地事務所 ・参加会員 77名
2.2.21	2年度 会員登録事務	2年度 会員登録手続き ・継続会員の確認

時 期	項 目	内 容
2. 3. 1 7	元年度 第6回 理事会 場所：道路整備保全公社	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業計画 ・ 勝どき及び著名橋ツアー関連報告 ・ 会員継続確認結果 ・ 初動対応訓練結果 他
2. 3. 3 0	機関紙 第75号の発行	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建設局初動対応訓練 ・ 建設局長による感謝の会 ・ 勝どき橋ミニツアーの再開 ・ 道路施設等点検